

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第33回河内長野市地域公共交通会議
2 開催日時	平成28年10月28日(金)午後3時
3 開催場所	河内長野駅前ノバティながの南館3階
4 会議の概要	(1) 企画乗車券PRチラシ・ポスターについて (2) 地域公共交通網形成計画の進捗状況について (3) 平成28年度の公共交通の取り組みについて (4) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	2名
7 問い合わせ先	(担当課名) 都市づくり部 都市創生課 交通政策係 (内線540、541)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第33回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第33回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成28年10月28日(金) 午後3時00分～
開催場所	ノバティホール
公開・非公開の別 (非公開とした 場合はその理由)	公開
傍聴者	2人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<p>(1) 企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて</p> <p>(2) 地域公共交通網形成計画の進捗状況について</p> <p>(3) 平成28年度の公共交通の取組みについて</p> <p>(4) その他</p>
会議内容	別紙会議内容のとおり

第33回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第33回河内長野市地域公共交通会議開会の案内 ➤ 各委員の出欠状況の報告 ➤ 新任会長の河内長野市副市長の榊井会長、 新任委員の南海バス株式会社企画部企画課長の秋元委員、河内長野市観光協会会長の上野委員、河内長野市都市づくり部長の深海委員の紹介
【議題1】企画乗車券PRチラシ・ポスターについて	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料1（企画乗車券PRチラシ・ポスター）について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）
廣門委員 （監事）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 裏面の路線図について、バス停は書かないのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 河内長野市の市域全体の路線図のイメージを書こうと考えている。 この機会に、委員の皆さんから何かアイデアがあれば教えてほしい。
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ バスをどうやって使っていくかが今後の課題である。家族でお出かけや高齢者の夫婦でお出かけなど、今は場所を中心に書いているが、同じ場所でも若い人がデートで行く、親御さんが小さい子どもを連れていく、お年寄りが夫婦でなど行く人によって違ってくる。ターゲットを中心にした書き方を検討していくことも大事だと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 目的別に作成していくことも大事であると思うので、今後、参考にさせていただく。
田中委員 （大阪府）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ モックルカード、ワイドモックルカード以外の他のカードは対象外とあるが、南海バス(株)さんのなっちも対象外か？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ モックルカード、ワイドモックルカードの割引は乗ったその日に限り有効となっているが、なっちはいつ乗車されたか確認できないため、割引の対象外としている。話は逸れるが、モックルカードPRチラシについて、去年のチラシはA4であったが、今年のチラシはA3としている。利用促進と市内活性化を図るため、11月号の市の広報で協賛企業を募集している。知り合いの業者さんにも声掛けをお願いしたい。
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今、紙面では協賛企業の本数は6枠だが、それ以上になることはあるのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 協賛企業の本数によっては、6枠以上になることもある。尚、その上の写真に

	<p>については、ラックに配架して手に取りたくなるような写真にしようと考えている。</p>
梶井会長	<p>➤ 頑張って6枠以上にしてほしい。</p>
深海委員	<p>➤ モデルコースについて、1日乗り放題ということだから、食べるところがあると良いと思う。</p>
事務局	<p>➤ 参考にしたい。</p>
	<p>【議題2】地域公共交通網形成計画の進捗状況について</p>
事務局	<p>➤ 資料2（「河内長野市地域公共交通網形成計画」具体的な取り組みの進捗状況）について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
坂口氏 (南海バス(株))	<p>➤ バスロケーションシステムについて説明。</p>
村上委員 (近畿運輸局)	<p>➤ 不便地域（向野町、桐ヶ丘）について、これまでの勉強会を通じて住民の交通に対する意識の変化は何かあったか？</p>
事務局	<p>➤ 形成計画において交通不便地域の対象となる自治会に投げかけて、手を挙げた自治会に入っている。桐ヶ丘地域について、地域でコースなどを考えてくれたが、くすまるの体験乗車を通じて、住民で維持していくという現状を実感して、維持することが難しいと感じ、意識が後退した。その後、自治会の役員交代が起きたが、機運が高まり12月にまた市に来てほしいというご意見を頂いた。向野町地域については、地域の高齢化率が低く、役員の方々は50歳代の方が多い。交通に対するイメージがまだまだ湧いていない。</p>
村上委員 (近畿運輸局)	<p>➤ くすまるの新たな利用者の開拓とは、どのようなものなのか？</p>
事務局	<p>➤ くすまるは、5年経過した今でも高い収支率を維持している。一方で、運行開始時に利用していた高齢者の方を最近は見かけなくなったというお声を聞くようになった。推測だが、今までの利用者が徐々に次の福祉のサービスを利用する段階に移られている。今後は、烏帽子台など地域内の若い世代の方々を取り入れて、地域内の新規の利用者を開拓していくことが喫緊の課題であると考えている。地域内で意識啓発をしていかないと忘れられるので、今後もくすまるについて、絶えず意識啓発をしていきたい。</p>
日野副会長	<p>➤ P (PLAN) D (DO) C (CHECK) A (ACTION) をやってほしい。それぞれの項目に関して、こういう状況でこういう展開になったとか、こういう</p>

<p>事務局</p>	<p>場で意見がほしい。もう1つ、資料の平成27年、平成28年の欄について、斜線はもう取り組まないということなのはわかる。平成29年の矢印は継続だとして、空欄はどういう扱いなのか？</p> <p>➤ PDCAについて、特に利用促進について、バス事業者さん、タクシー事業者さんと協力していると考えている。一方で、検証については、アンケートをとって報告をしているが、その先にある施策の提案をこの会議でできていないので今後取り組みを進めていきたい。</p> <p>資料については、平成28年の斜線は完結という意味。平成29年度の矢印は確定、空欄は今日時点ということで書いた。今後も取り組めることは取り組んでいく。この場でご意見頂いたことは、意味づけをして変えていくつもりである。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 資料について、コメントを入れていくと共通認識がもてる。</p> <p>次に南海バス(株)さんにお伺いしたい。なっちについて、昼間割引は、自動的に感知されるのか？</p>
<p>坂口氏 (南海バス(株))</p>	<p>➤ 普通割引と昼間割引の両方にチャージされていると、タッチされたときに機械が自動的に時間を判断して、昼間なら昼間割引の方から引き落とす。昼間割引しかチャージされていないと、夕方にタッチされた場合、機械は対応できないので、普通割引でチャージしていただくか現金等で支払ってもらうことになる。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 手間を省けるのは利用者からすると良いことだと思う。自分も先日、大阪市営地下鉄を利用した。帰りはバスを使った。1日以内であれば、100円引きになる。地下鉄で帰るよりバスで帰る方がお得になる。勝手に割引になり、利用者からすると使ってよかったなと思える。南海バス(株)さんもお得になることを強調してくれた方が良いのかなと思った。</p> <p>2点目は、バスロケについて、大阪市内でバス停に行った時に分かりやすくなっている。固定式にすると費用がかかると思うが、利用客の多い中心部だけでもバスロケを導入することを検討すると良いと思う。奈良でも、過去にバスロケについて色々な実験をして、路線が重なるところで固定式がないと不便だと意見があった。将来的に、黒字になったら導入するなどの今後の予定を知りたい。</p> <p>3点目は、南海バス(株)が三日市町で新路線の導入をし、当時話題になったが、その後どうなったか知りたい。</p>
<p>松内委員 (南海バス(株))</p>	<p>➤ 駅前や主要な施設でスマートフォンを持っていなくても、バスの場所がわかる仕組みについて、たとえば市民病院、市役所等で固定式のテレビ画面等で置くことを検討している。バスロケについてこういう物ですと、見せられればいいが、内情はなっちを導入したばかりで、着手できる状況になったところである。こういう物ですというのはできていない。今後は、どんなことができるかを事務局と協議していきたい。なっちの冊子について、右下のとこ</p>

	<p>ろに「2016年10月」と黒で書いている。青で書いているものもあり、もっと言うと、「2016年9月」と書いた青い冊子もある。配布して市民の方から色々なご意見をいただいて、少しずつ改良を重ね、見やすくする工夫を重ねている。先程出た話題だが、まさにPDCAをやっている。PLANで計画して、DOでやってみて、CHECKで反省会をして、ACTIONで反省したものを次に活かしましょうと取り組んでいる。とりあえずやってみるだけではなくて、悪い所がいっぱいあると思うので、反省して次に活かして、意見をいただきたい。バスロケについてもどこまでできるかわからない。日野副会長の仰った奈良のバスロケの様に出来るかどうかは分からないが、まず、やって、反省があれば反省しようという状況。ここで凄いことやってみますと言っても、来年4月は「なんやこれ」となると思う。長い目で見てほしい。</p>
<p>吉岡氏 (南海バス(株))</p>	<p>➤ 3点目の新規路線について、平成27年12月から千代田駅～緑ヶ丘で深夜運行、平成28年7月から深夜バスの運行を開始した。現在、ご利用しているお客さんの数が徐々に伸びている状況。今後、深夜バスを知らない市民の方々にPRしていくことが課題である。平成27年12月から清見台団地線の三日市町駅西側ロータリーでの全便発着について、三日市町駅東からの発着は高齢者の方々にご負担がかかってしまう。そのため、弊社で駅西の方からの発着にした。その結果、現段階では、駅西の方が良いということで、乗降者数が若干増加している。今後も乗降者数を注視していきたい。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 三日市町駅の発着について、乗客数が伸びないのなら、プロセスを見てPDCAをして、事業者のみならず、会議にかけてほしい。南海バス(株)は堺東～鳳までピッチレースを大阪で初めて行った先進者である。こういうバックアップがあれば、こういうことができると、この場で提案してほしい。</p>
<p>深海委員</p>	<p>➤ 清見台の東ロータリーから西側へ、バスの構造上はみ出てしまうが、南海バス(株)さんの事故や運転の仕方についてお伺いしたい。</p>
<p>坂本委員 (南海バス労働組合)</p>	<p>➤ 実際に接触事故があった。自転車を置いている建物と三日市町駅から来た右巻きのL字カーブで上から下ってきた乗用車と挟み込んだ。軽症で済んだが、危ない事故だった。その後、市役所にカーブミラーを付けてもらった。</p>
<p>岩井委員 (市民公募)</p>	<p>➤ 南海バスカードを今まで使っていた。なっちの割引も同じ価格なのか？つまり、5,000円チャージしたら5,600円使えるのか？</p>
<p>坂口氏 (南海バス(株))</p>	<p>➤ その通り。割引は同じである。</p>
<p>岩井委員 (市民公募)</p>	<p>➤ チャージは車内で可能だが、ICカード本体の販売は営業所に行かないと買えないのか？</p>

坂口氏 (南海バス(株))	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バス車内でも乗務員が販売している。なっちのPR 冊子（南海バス(株)発行）3ページの「新規ご購入について」にあるように3,000円で販売している。市内なら、定期券販売所で販売している。
岩井委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ それなら、手数料500円とチャージ額を払うということか？
坂口氏 (南海バス(株))	<ul style="list-style-type: none"> ▶ なっちはICカードなので、500円は手数料ではなく預り金として頂戴しており、ICカードが不要になると500円は戻ってくる。3,000円で購入していただくが、実際はそのうち2,500円を利用していただくことになる。それに応じて、初回は昼間割引か普通割引かを選んでいただく。普通割引を選ぶと2,500円の内、300円にプレミアムがついて2,800円を利用できる。昼間割引を選んでもらうと500円のプレミアムがついて3,000円を利用できる。両方利用したいなら1,000円単位で選べるので、ひとまずご購入の際はどちらかを選んでいただいて、ご購入されなかった方を、1,000円単位からチャージするとご利用可能である。
岩井委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 9月ごろから南海バスカードがなくなり、なっちが利用できるようになるとバス車内に広告があった。なっちはバスカードと同じ扱いという認識でよいか？
坂口氏 (南海バス(株))	<ul style="list-style-type: none"> ▶ はい。
岩井委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 週2、3回、ボランティアに行く際に、バスを利用する。ボランティア先から交通実態調査のため、通勤実態が分かるものを提出するように言われる。何ヶ月前の分から、分かるようになるのか？
坂口氏 (南海バス(株))	<ul style="list-style-type: none"> ▶ なっちには、利用履歴のデータは残る。ICカードには表示されないのですが、河内長野営業所にご用命していただくと、ご希望の期間の履歴を紙でお渡しすることは可能である。営業所に言えば、対応する。
岩井委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 三日市町駅前の機械では出てこないのか？
坂口氏 (南海バス(株))	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 直近の利用で回数については、限定されるが画面表示される。紙なら、ご足労かけるが営業所に問い合わせさせていただきたい。
事務局	<p data-bbox="375 1852 1070 1883">【議題3】平成28年度の公共交通の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 資料3-1（公共交通庁内検討会議（交通PT））について説明。

(各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)

<p>伊勢委員 (和歌山高専)</p>	<p>➤ 庁内で連携するというのは、有意義だと思う。どんどん進めていってほしい。資料を見ると、福祉と観光産業の2点で交通弱者と利用促進に重きを置いて色々事業提案をしている。見込まれる効果について、ポジティブな効果を挙げて提案し、課題を見ると、これを実現するために障壁になるものが何かを挙げています。それも良いが、こういう事業をしたらこんなポジティブなこともある一方で、こんなネガティブな効果が想定されるということも提案してみても良いと思う。総合計画でも理想的な都市を実現するために、いっぱい目標があって、ある目標達成を行うにあたって、実は他の目標の達成に支障をきたすことがある。自分の研究の宅配や移動販売車についてでも、宅配や移動販売車を導入すると買物弱者が減る一方で、今まで中心市街地に集まっていた人々が集まらなくなって、中心市街地が衰退するといったことがある。他にも、宅配をすると健康の増進に繋がらないなども挙げられる。資料3-1-①の公共交通PT（交通弱者PT）の施策提案の17番の場合、郊外の地域とスーパーであれば、もし駅前の活性化を図りたいなら、商店街との連携も重要だと思う。たとえば、和歌山でも商店街が衰退している。商店街の人が宅配で特定の場所に売りに行って、賑わいの方ではないが、売上げ的な活性化を図って買い物に困っている人を助けるということをやっている。ネガティブなものも見てほしいというのが、私の意見。</p> <p>あと、予算的に厳しいということも挙げているが、地域公共交通会議の予算だけではなくて、経済産業省でも買物支援対策事業などをしているので、色々な予算を見て、お買い物バスも採っているんで、必ずしも単独する必要はないと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ 今後に向けて参考にしたい。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 弱者対策について今は分けているが、最終的にバスサービスを考えるときは、1つにしないといけない。課題を見ていると、法律上やハードなどはすぐには解決しない。ニーズはわからないし、先程の様に財政上の問題もある。もう一つは、免許返納などもうちょっと何かお得感を出せないのかという問題がある。対象とするものは2つ、施策全体の課題は3つに分けられる。法律やハードの課題は中々すぐには解決しないので置いていて、免許返納については今後調査していかなければいけない。ニーズや利用者数の心配、財政上の問題は、ニーズ調査をして今までの利用者数のデータから採算性の試算をするべき。それはそれで直接的な効果として評価する。つまり、採算面で取り組めるなら問題ない。問題があるなら、税負担の問題がある。今後のまちづくりを考える際に、単に乗り物に関する採算性だけではなくてバスを使って移動することで賑わいや消費、健康等に貢献したいと思うので、その次はそれらに関しての波及効果を試算して、バス利用者だけの運賃だけでは採算性がとれなくても、それプラス多少の税負担を考慮して、波及効果を考えてトータルの採算性を試算してみてもどうかと思う。多少の税負担でトータル的に可能であるなら、最終的に検討して、その中から可能性のあるものから絞っていけば良いと思う。</p>

事務局	<p>➤ 我々も、案を出さないと検討にもならないと考えている。この中から、1つでも2つでも継続性のあるものから実現していきたい。予算や継続性を検討して、委員からいただいたご意見を整理し、この会議に諮って行きながら、1つでも実現に向けて取り組んでいきたいと思っている。</p>
日野副会長	<p>➤ 千代田線の割引についてでも、当初は赤字を見込んで補助を予定していたが、お客さんが増えるとその分ペイできていく。そういう考え方である程度予測できるなら積極的に取り組んでいけばいいし、ダメならそこで考え直したらいい。そういったことが、今現実でもできていることを踏まえると、今言ったような考え方でアプローチしていけばいいと思う。</p>
事務局	<p>➤ 資料3-2（日野・滝畑コミュニティバス乗込み調査）について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
日野副会長	<p>➤ 言うまでもないが、休館日などは確認し、気候なども考慮して、調査をしていただきたい。</p>
伊勢委員 (和歌山高専)	<p>➤ 半分以上の回答者が週2回以上使っているにも関わらず、1回目と2回目で「路線を維持してほしい」の意見が少ないのは、なぜか？</p>
事務局	<p>➤ 「維持してほしい」について、満足している人はあまり答えない。走っているだけで有難いという方もいた。「本数を増やしてほしい」の回答は若い方、通勤の方が多かった。日野・滝畑コミュニティバスは、既にあるから問題ないと考えて、そもそも維持してほしいという人が少なく、今あるのだから、あって当たり前と考えている方が多い。「ダイヤを見直してほしい」も多いが、通勤の方が、帰りのバスがないから、時間を増やしてほしいと仰る方が多かった。昼間は、2時間に1本という状況、そういう状況から、増やしてほしいと仰る方が多かった。</p>
日野副会長	<p>➤ 滝畑地域にバーベキューをすることがある。高齢者は車でも荷物を持って移動するのは大変である。来てもらう先が魅力であることは、イベントとプラス自然というのが良い。わざわざ道具を持って買い出しするのは、しんどい。受け側として、何か考えてもらえないかなと思う。</p>
井戸委員 (商工会)	<p>➤ バーベキューセットについて、そういう商売があることを知らない方が多い。最近はそので、大阪市内の業者さんが儲けている。自分自身、運びが専門だし、お肉屋さんも役員の中にいるので、そういう相談をしていこうかなと思う。商工会に、費用負担の問いかけくらいはして頂きたい。問いかけがないと、返事もできないと思って聞いていた。 PT 的のを絞れていない。最初の話では、外の方には目を向けれていないという話も出ていたが、結構、外の方を呼び込もうという話もあった。</p>

<p>村上委員 (近畿運輸局)</p>	<p>➤ 資料3-3 (地域連携サポートプラン) について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 2点確認したい。1点目は、協定を結ぶのは自治体だが、事業者さんはどう いう関与をするのか？2点目は、運輸局さんから最後、議論した内容を提案 書でもらえるが、補助などはもらえないのか？</p>
<p>村上委員 (近畿運輸局)</p>	<p>➤ 1点目の事業者さんとの関わりについて、運輸局と河内長野市と協議してい く中で、当然、事業者さんも関わっていく。情報収集や取り組める内容につ いて、事業者さんは表面的には出てこないが関わっていく。2点目の補助に ついては、今の時点では予算がなく出せない。事業者さんら関係者さんたち の横のパイプを出来るだけ多くつなげていけたらと思っている。これが好事 例とされて、その時に支援できるものがあれば良いなと思っている。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 交通事業者さんは、情報を出しにくい。一方で、ICカード導入などのビック データの活用については国を挙げての課題となっており、交通事業者さんも データを出していないといけなくなると思う。どこの交通会議に行っても、 交通事業者さんからは情報は出にくい。今後、地域連携をしていくときに交 通事業者さんから何ができるとかできないとかの情報をもらうことが、重 要な部分を占めていくと思う。許認可を出す方と貰う方で利害関係もあり、中々 難しいかもしれないが、どこかで表だって、このようなオフィシャルな場で 情報を提供してくれることで、データを出す範囲が広がるかもしれない。交 通事業者さんたちのお持ちのビックデータを活用することで、交通事業者さ んだけでなく、関連する事業主体の団体にも波及効果が広がる可能性が高 い。東京では、企業さんがそのような情報を使って、サービスを提供してい る。関西は遅れているような気がする。そのような体制作りを、運輸局さん にも検討していただけたらと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ 資料3-4 (バスの乗り方教室) について説明。</p> <p>➤ くすまの5周年記念式典について、説明。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第33回河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成28年10月28日(金)午後3時から ノバティホール

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	榎井 繁春	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院 工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	
委員	村上 進一郎	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	
委員	湯川 義彦	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	
委員	豊田 正明	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	欠席
委員	田中 伸之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長	
委員	八代 光男	大阪府 河内長野警察署 交通課長	
委員	秋元 克之	南海バス株式会社 企画部 企画課長	
委員	松内 祐二	南海バス株式会社 営業部次長兼営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 河内長野営業所長	欠席
委員	椋本 専次	近鉄タクシー株式会社 南大阪総合営業所長	
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会 会長	
委員	上野 修二	河内長野市観光協会 会長	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会 会長	
委員	岩井 仁	市民公募	
監事	廣門 久美子	市民公募	
委員	岡田 充	河内長野市保健福祉部長	
委員	田村 公秋	河内長野市環境経済部理事	
委員	深海 秀友	河内長野市都市づくり部長	
委員	小西 昌敏	河内長野市総務部長	
委員	塩谷 聡	河内長野市総合政策部長	